



公益財団法人 大阪産業局 上海代表処 (大阪府上海事務所)

中国上海市延安西路 2201 上海国際貿易中心 408 室 200336 Email osaka@ibo-sh.com.cn
TEL 86-21-6270-1901 FAX 86-21-6270-1351 http://osaka-sh.com.cn

20210802 号	南京空港で発生した新型コロナの影響	副所長 大山知宏
20210809 号	上海の感染対策と暑さ対策	副所長 前田千晶
20210816 号	「双減」政策に直面する社会現象	秘書 孫芸
20210823 号	中国の信号事情	所長 南浦秀史
20210830 号	府内企業の新店舗が上海市内にオープンしました！	副所長 大山知宏

南京空港で発生した新型コロナの影響

先月下旬、江蘇省の南京空港で発生した新型コロナウイルス感染の影響が、中国各地に波及しつつあります。今回、同空港から入国した海外感染者が感染源とみられており、当初の感染者は機内の清掃員等の空港関係者でした。地元政府は、すぐに空港の閉鎖、関係者及びその居住区の強制隔離(ロックダウン)、1千万人近い南京市民に PCR 検査を行うなど、感染拡大を防ぐための素早い対応を行いました。しかし、今回は感染力の強いインド由来の「デルタ株」だったことや、不特定多数の人が集まる空港が発生源となったこともあり、映画「アバター」の舞台のモデルとして有名な張家界や兵馬俑のある西安といった観光都市、また、北京や遼寧省、四川省などといった複数の大都市でも、感染者が発生しています。

ここ上海市でも、7月30日に同市トップの李強・共産党委員会書記が防疫体制を強化する方針を表明しており、市内で今月に開催予定の展示会が全て延期になるとの情報も出始めています。また、当事務所は、今月中旬に山東省で開催される展示会への参加を予定しており、その動向を注視しているところです。

本来この時期は、夏休みということもあり旅行シーズンの真っ盛りですが、上海など一部の都市では、市外に出ないよう学校から学生に指示が出ており、観光地の誘客に悪影響を及ぼしそうです。今回の事態が中国経済に大きなダメージとならないよう、早期の収束を祈るばかりです。

关于进一步加强 2021 日本进口商品博览会 疫情防控工作的通知

各有关单位：

您好，感谢您参加 2021 日本进口商品博览会，为做好本次博览会疫情防控工作，应济南市疫情防控和经济运行工作领导小组（指挥部）疫情防控专家组的的要求，现具体通知如下：

1. 各单位提前填写参加本次展会人员的参展商/工作人员健康信息采集表（见附件），否则无法办理展证。并做好本单位人员展前 7 日健康信息监测，如存在风险暂缓来济南参展。
2. 展会现场入场需要进行双码检查（健康码及行程码）及身份核验（济南 e 警通），健康码为红色或黄色，以及行程码为红色或黄色，如行程码为绿色，但于前 14 天达到或途经中高风险地区将无法入场。请提前注册好“山东电子健康通行卡”、“通信大数据行程卡”、“济南公安 e 警通实名认证”。
3. 济南市以外参加人员持 48 小时内正规核酸检测机构出具的阴性证明并提交过健康信息采集表，方可在济南舜耕国际会展中心南广场展会服务处领取展证后入场。时间为 9 月 6-7 日 08:30-17:00。

感谢您对我们工作的支持，配合做好疫情防控工作。

日本进口商品博览会组委会
2021 年 9 月 1 日



上海の感染対策と暑さ対策

世界中に広がるインド由来の新型コロナウイルス「デルタ株」。ここ中国でも感染が拡大しています。上海市内でも感染者が発生し、色々な場所で従来以上にマスクの着用、検温、健康コードが求められるなど、にわかに警戒モードが高まりつつあります。

これに伴って、上海市内で行われる予定の展示会や見本市、夏祭りなどのイベントは続々とキャンセルとなり、経済への影響も懸念されています。

このような状況下、中国では「新型コロナ対策」、「暑さ対策」をキーワードとする新しい消費傾向が生まれています。例えば、ペット愛好家が急増する中国では大切なペットを暑さから守るためのペット専用ホテルの人気が高まっています。あるお店では、個別のエアコンのほか、クール・スパやヒンヤリしたおやつが提供されるサービスを始めたようで、ひと夏いっぱい預けると1~2万元(約17~34万円)かかるそうです。

食事のデリバリーでも「暑さ」に対する新しい動きが見られています。中国では、コロナ禍でステイホームを余儀なくされて、オンライン注文での食事の配達サービスが広がりました。暑い時期に外出したくない、コロナウイルス対策で他人との接触を避けたいという気持ちから、デリバリーを頼む市民が増えており、各店舗は天気予報を毎日確認しながら、猛暑日の配達増を見込んで商品の仕入れを行っているそうです。

その他、夏休みに、上海市民は市外への移動は控えるようにと市政府から発表があったことから、上海市内のリゾート地のホテルでは8月下旬まで予約が埋まっているところも沢山あるようです。

感染拡大抑制に向けた様々な措置が取られるなか、個人消費はどこに向かっていくのか。今後も注視していきます。



「双减」政策に直面する社会現象

7月下旬、政府が公表した学校教育に関する「双减文件」が国民を驚かせた。「双减」とは一言で言えば「中国版ゆとり教育」。正式名称は「全ての地域で義務教育段階の生徒の宿題負担を軽減、学外教育の負担を軽減する」というもの。具体的には宿題と学習塾の2つを減らす、ということだ。

今回の「双减」は、中国で衝撃的なニュースであり、大きな反響を呼んでいる。SNSでは、賛否両論、さまざまな意見が飛び交う。それと同時に、補習授業の最大の推進者であり、「金主」と呼ばれる親たちにとって、まさに「寝耳に水」だった。ほかの補習方法を探そうとする親もいれば、授業料の返金をしてくれるかの心配をする親もいる、こどもの資質・能力を大切に養いたいということに目を向ける親がいたら、家庭教育を始める決意を固めている親もいる……「双减」政策を目にした親たちの反応は、まさに現代社会の縮図である。「内巻」(学校など閉ざされた世界で否応なく競争に巻き込まれる状況)とそうでない一方の「反内巻」(不条理な内部競争をせずに、さらに高いところまで進めたい現象を指す)との一進一退の戦い；教育資源の不均衡の懸念；家庭教育の欠如；子供にとって健全な成長環境が無視された時代の反省である。

小学校2年生の子を持つ私にとって、今回国の一連の政策を見て、本気度を感じた。教育費やこどもの負担を軽減する目的は良いと思うが、ただ、受験制度が変わらない限り、成績で勝負することになるだろう。

「双减」政策の導入により、風向きは一気に逆方向に変わった。しかし親たちがこの新方針に適応し、考え方を考えるまでまだまだ時間がかかるのではないだろうか。



中办、国办近日印发
《关于进一步减轻义务教育阶段学生
作业负担和校外培训负担的意见》

现有学科类培训机构
统一登记为非营利性机构

校外培训机构不得占用国家法定节假日、
休息日及寒暑假组织学科类培训

新华社国内部出品

中国の信号事情

大阪人は“せっかち”とされていて、その例が、横断歩道にあるカウントダウン表示、ということが面白おかしく言われています。ここ上海はそういう意味では、大阪人以上に“せっかち”かもしれません。

中国の信号はだいたい日本と同じです。ただし、青と赤の間にデジタル表示があり、そこがカウントダウンします。赤から青になるタイミングも、青から赤になるタイミングでも。また、車用も歩行者用も。幅の広い大通りを渡るときには、青になった瞬間からカウントダウンが始まるので、大急ぎで渡らないといけません。日本のように、隣の信号をにらみながら青になるタイミングを見計らってフライング、ということは中国では起こりませんが、カウントダウンで信号が変わるタイミングがわかるので、変わる2〜3秒前から動き出します。

ユニークな表示としては、Uターン表示や自転車専用表示があります。Uターン表示は中央分離帯のある大通りなどに設置されていて、中央から一番離れたレーンで待機し、青になるとUターンできます。自転車専用表示は、いわゆる自転車用と電動自転車(電動アシストではありません。電動の原付です。)用で、左折するとき(中国はアメリカと同じで右側通行です)に使われています。

歩行者は、カウントダウンがある以外、だいたい日本と同じなのですが、日本人が歩いていて気をつけなければいけないのは、車や自転車の右折です。基本的に赤でも右折は可能らしく、日本では馴染みがありませんが、アメリカではよくあるそうです。信号が青だからと安心して渡ろうとすると、静かに近づいてくる電動自転車と衝突、なんてことになりかねません！



府内企業の新店舗が上海市内にオープンしました！

1915年創業、東大阪市に本社がある酒類専門商社の株式会社モトックスが、8月20日に新店舗を上海市内にオープンされたと聞き、お邪魔してきました。

同社の新店舗は、上海市内でも人気のあるショッピングモールのひとつ「美羅城(メトロシティ)」内の地下1階、日本食料理店などが集まる、人の流れが多い好立地にあります(ちなみに、このモールは20代~30代の若者に特に支持されており、2020年7月にオープンした雑貨販売店のロフト(LOFT)も、中国第一号店としてここを選びました)。

店内は、同社が得意としているワイン類をはじめ、中国でも人気急上昇中の日本酒やカクテル類、また中国の他店舗では売られていない食材など、専門商社の強みを生かしたバラエティ豊かな商品が棚に並んでおり、お客さんが熱心に品定めをされていました。

同社の中国現地法人、慕酌思(上海)貿易有限公司の渡邊董事長からは、「オープン後、ここ数日の売上高は想定通り」「売上はもちろん大事。ただ、単に自社商品の販売の場ではなく、お客さんの反応をダイレクトにキャッチ出来るこの店舗は、非常に重要だと考えている」「チャンスがあれば、上海市内に今後も直営店を増やしていきたい」といったお話をいただきました。

30年近くも中国ビジネスに携わって来られた渡邊董事長、実は以前、このモールで別の店舗を運営されていたこともあり、「あれ、久しぶり！」と多くの方が挨拶に来られていたのが印象的でした(モール運営側とも信頼関係が構築されているので、今回、好立地に出店できたとのこと)。

同社がなるべく早く2号店をオープンされることを楽しみにしながら、店舗を後にしました。

